

令和4年度

事業報告書
会計決算報告書

公益社団法人全国乗馬倶楽部振興協会

令和 4 年度

事業報告書

公益社団法人全国乗馬倶楽部振興協会

令和4年度 事業報告書

自 令和4年4月1日
至 令和5年3月31日

本年度の令和5年3月31日現在における事業実施状況は、次のとおりである。

1. 会員

令和5年3月31日現在の会員数は次のとおりである。

会員数	23 会員
・地区乗馬倶楽部振興会	20 会員
・目的賛同団体	3 団体

2. 乗馬施設・乗用馬・乗馬指導者等登録事業

乗馬施設等登録規定に基づく登録は次のとおりであり、乗馬施設の登録は前年比1乗馬施設の減少(2乗馬施設増、3乗馬施設減)、乗用馬登録は前年比54頭の増加、乗馬指導者は前年比49名の増加であった。

乗馬施設	289 施設	【別表1】
乗用馬	5,278 頭 (令和4年4月末時点の登録数)	
乗馬指導者	1,893 名 (上級B 141・W 12名、中級B 232・W 24名、初級B 1,407・W 77名)	

【別表1】 令和4年度 登録乗馬施設数の推移

	地 区	各地区乗馬倶楽部振興会 都道府県別登録乗馬施設数	令和4年度				(参考) 令和 3年度
			乗馬 施設数	入会	退会	(うち 休会)	
1.	北海道	北海道 22	22	1			21
2.	東 北	青森 2 岩手 2 山形 2 宮城 5 秋田 1 福島 1	13				13
3.	北関東	栃木 9 茨城 17 群馬 5(1)	31	1	1	(1)	31
4.	埼 玉	埼玉 13(1)	13			(1)	13
5.	千 葉	千葉 29	29				29
6.	東 京	東京 4	4		1		5
7.	神奈川	神奈川 20	20				20
8.	北 陸	新潟 2 富山 0 石川 2 福井 2	6				6
9.	長 野	長野 9	9				9
10.	山 梨	山梨 10	10		1		11
11.	静 岡	静岡 18	18				18
12.	東 海	愛知 10(1) 岐阜 4	14			(1)	14
13.	東近畿	三重 8 奈良 5	13				13
14.	京 阪	滋賀 6 京都 5 大阪 9 和歌山 2	22				22
15.	兵 庫	兵庫 9	9				9
16.	中 国	岡山 5 広島 9 鳥取 1 島根 1 山口 4	20				20
17.	四 国	香川 2 愛媛 2 高知 1 徳島 1	6				6
18.	北部九州	福岡 12(1) 佐賀 1	13			(1)	13
19.	中九州	大分 4 熊本 5 長崎 1	10				10
20.	南九州	宮崎 1 鹿児島 4 沖縄 2	7				7
	合 計		289	2	3	(4)	290

【新規登録乗馬クラブ】2件

北海道ボロクラブ (北海道地区 : 北海道)
riding team Regroup (北関東地区 : 茨城県)

【退会乗馬クラブ】3件

日光乗馬クラブ (北関東地区 : 栃木県)
日の出乗馬倶楽部 (東京地区 : 東京都)
ノースランドライディングクラブ (山梨地区 : 山梨県)

【休会乗馬クラブ】4件

社会福祉法人巢立ちの杜 レオナルド・ダ・ヴィンチ牧場 [1年目] (北関東地区 : 群馬県)
Y. S. K ライディングスクール [2年目] (埼玉地区 : 埼玉県)
尾張旭ライディングスクール [2年目] (東海地区 : 愛知県)
上野乗馬苑 [2年目] (北部九州地区 : 福岡県)

3. 諸会議等

令和4年度に開催した主な会議等は、次のとおりである。

《総会の開催》

定時社員総会 6月21日
議題
1. 令和3年度事業報告
2. 令和3年度会計決算報告
3. 役員改選

《理事会の開催》

第1回理事会 5月31日
議題
1. 令和4年度定時社員総会に付議する議案について
2. 令和4年度定時社員総会の開催について
3. 規程の改正について

第2回理事会 6月21日
議題
1. 代表理事及び業務執行理事の選定について
2. 顧問の選出について

第3回理事会 令和5年2月20日
議題
1. 令和5年度事業計画・収支予算について
2. 規程の改正について

《その他の会議等の開催》

常務理事会 5月31日・6月21日・令和5年2月20日
地区会長会議 令和5年2月21日

4. 人事関係

令和4年度における役員等の異動は、次のとおりであった。

選任	常務理事	細野 茂之	(6月21日)
〃	理事	菊田 淳	(6月21日)
〃	理事	高橋 敏之	(6月21日)
〃	理事	中村 勇	(6月21日)
〃	理事	山崎 由紀子	(6月21日)
〃	理事	吉田 享史	(6月21日)
退任	理事	上野 儀治	(6月21日)
〃	理事	上手 邦夫	(6月21日)
〃	理事	高松 勝憲	(6月21日)
〃	理事	八木 由里	(6月21日)

5. 乗馬普及関係事業

広く一般市民に乗馬普及を図るため下記事業を行った。

(1) 大衆と馬とのふれあいタイム推進事業

日本中央競馬会（以下「JRA」という。）からの助成を受け、地域の児童から高齢者に至るまでを対象に、行政機関や教育機関、地域社会等と連携し一般市民が馬とふれあう機会を増加させ、馬の持つ魅力を広く伝えるとともに地域振興等に有意義であると認められる事業を主催もしくは協力した乗馬施設に対して補助金を交付しており、61件の事業を実施した。

なお、今年度は事業推進委員会を12月21日、令和5年3月8日に開催した。

(2) 被災地支援等のための馬とのふれあい活動事業

JRAからの助成を受け、激甚災害を被災した地域で馬とのふれあい活動を行うことにより、被災地の人々に明るく元気になってもらうため、また、引き続き馬への親しみや理解を深めてもらうために事業を実施した。実施件数は現地訪問型130件、乗馬施設招致型103件、都市部開催型1件であった。

なお、事業推進委員会を12月21日に開催し補助金を交付した。また、次年度に向けて令和5年3月8日にも会議を行った。

(3) 乗馬技能認定事業

① 乗馬技能認定

乗馬愛好者の乗馬技術の向上意欲を図り、また効率的で安全な指導を行うため乗馬技能認定を行い、合格者に認定証を交付した。

なお、申請者数は10,046名、合格者9,603名であり、審査回数は3,986回、技能認定審査実施乗馬施設数は154施設であった。 【別表2】

【別表2】令和4年度 乗馬技能認定結果

(単位：名)

級 / 年度		令和4年度		令和3年度		前年度比
審査回数		3,986		4,381		91.0%
乗馬クラブ数		154		164		93.9%
5級	申請者数	4,815		5,891		81.7%
	合格者数・率	4,802	99.7%	5,885	99.9%	81.6%
ウエスタン5級	申請者数	49		65		75.4%
	合格者数・率	49	100.0%	65	100.0%	75.4%
4級	申請者数	2,390		2,275		105.1%
	合格者数・率	2,379	99.5%	2,262	99.4%	105.2%
ウエスタン4級	申請者数	25		21		119.0%
	合格者数・率	25	100.0%	21	100.0%	119.0%
3級	申請者数	1,412		1,373		102.8%
	合格者数・率	1,235	87.5%	1,197	87.2%	103.2%
ウエスタン3級	申請者数	21		4		525.0%
	合格者数・率	20	95.2%	4	100.0%	500.0%
エンデュランス3級	申請者数	25		28		89.3%
	合格者数・率	25	100.0%	28	100.0%	89.3%
3級障害	申請者数	271		249		108.8%
	合格者数・率	257	94.8%	232	93.2%	110.8%
2級障害	申請者数	208		167		124.6%
	合格者数・率	187	89.9%	162	97.0%	115.4%

級 / 年度		令和4年度		令和3年度		前年度比
2級馬場	申請者数	483		495		97.6%
	合格者数・率	343	71.0%	421	85.1%	81.5%
ウエスタン2級	申請者数	1		2		50.0%
	合格者数・率	1	100.0%	2	100.0%	50.0%
エンデュランス2級	申請者数	12		5		240.0%
	合格者数・率	11	91.7%	5	100.0%	220.0%
1級障害	申請者数	116		10		1160.0%
	合格者数・率	104	89.7%	5	50.0%	2080.0%
1級馬場	申請者数	218		156		139.7%
	合格者数・率	165	75.7%	120	76.9%	137.5%
ウエスタン1級	申請者数	0		0		—
	合格者数・率	0	—	0	—	—
エンデュランス1級	申請者数	0		0		—
	合格者数・率	0	—	0	—	—
合計	申請者数	10,046		10,741		93.5%
	合格者数・率	9,603	95.6%	10,409	96.9%	92.3%

なお、技能認定1・2級合格者のうち、(公社)日本馬術連盟の定める騎乗者資格B級への移行措置者は177名であった。【別表3】

【別表3】 令和4年度 日本馬術連盟騎乗者資格 B級移行者数 (単位：名)

技能認定	障害		馬場		エンデュランス		合計
	1級	2級	1級	2級	1級	2級	
人数	46	44	22	60	0	5	177
	90		82		5		
移行先	B級		B級馬場馬術限定		B級エンデュランス限定		

② ポニーライダー技能認定

中学生以下を対象として馬との親和性を図るため、また、乗馬技術の向上とポニーを使った技能認定を行い、合格者に認定バッジを交付した。認定登録者数は249名であった。【別表4】

【別表4】 令和4年度 ポニーライダー登録者数 (単位：名)

級 / 年度	令和4年度	令和3年度	前年度比
5級	131	171	76.6%
4級	52	80	65.0%
3級	37	64	57.8%
2級	17	22	77.3%
1級	12	16	75.0%
合計	249	353	70.5%

- (4) 普及乗馬大会
- ① 全国普及乗馬大会
一般市民を対象として、乗馬技術の向上と相互交流を図るため、5月19日～22日の4日間、御殿場市馬術・スポーツセンターで開催した。
 - ② 地区普及乗馬大会
一般市民を対象にした各地区の乗馬大会を共催し、20地区振興会、1団体会員で開催した。
- (5) 乗用馬取扱講習会事業
8月30日～9月4日の6日間で、北海道根釧地区において乗馬愛好家や一般市民を対象に、馬の安全な取り扱いについての講習会を開催し、11名が受講した。
- (6) 乗馬普及広報事業
乗馬の健全な普及を図るため、乗馬に関する情報等をホームページに掲載し、広く乗馬の魅力を発信する他、様々なイベントを利用して広報に努め、地区乗馬倶楽部振興会等で実施する試乗会や普及乗馬大会等を地区乗馬倶楽部振興会のホームページやマスコミにも積極的に広報するよう依頼した。
また、本協会の活動内容を広く周知する為、本協会のロゴ・名前等を記入したノベルティや小冊子の配布を行った。
- (7) 乗馬活動保険推進事業
JRAからの助成を受け、乗馬活動中に発生する様々なトラブルによる問題に対処するため、乗馬クラブが加入する傷害・賠償保険金額（年間）に対し、乗用馬防疫推進事業におけるワクチン接種馬の保有頭数に応じて補助金を交付した。
- (8) 引退競走馬等の馬の多様な利活用普及推進事業
- 1) 馬の多様な利活用を推進する講習会開催等事業
JRAの助成を受け、全国各地において実施されている馬を活用した活動において、安全に馬を取り扱える人材の養成等のため、障がい者・ホースセラピー、観光・地域振興、青少年・教育に関する講習会等を開催した。
 - ・講習会の開催
 - 地域振興：7会場 合計参加者数 329名（延べ人数）
 - 青少年：4会場 合計参加者数 203名
 - 障がい者ホースセラピー：3会場 合計参加者数 64名（延べ人数）
 - ※14会場 合計参加者数 596名（延べ人数）
 - ・事業推進委員会の開催
第1回：4月12日、第2回：8月22日、第3回：12月26日
 - ・中央委員会の開催
令和5年2月7日
 - 2) 障がい者乗馬・ホースセラピー活動等を支援するための事業
JRAの助成を受け、広く国内に障がい者乗馬・ホースセラピー活動を普及する為、安全性を始めとする馬の取り扱いや適切な対応がとれるよう、海外より講師を招いての講習会を開催する事業であるが、新型コロナウイルス感染症のため、海外より講師を招いての講習会の開催を見送り、障がい者・ホースセラピー資格制度に関する勉強会を実施した。
 - ・障がい者乗馬・ホースセラピー制度に関する勉強会の開催
第1回：12月27日

3) 民間における引退競走馬の利活用促進等に関する事業

JRA の助成を受け、乗馬クラブ等で引退競走馬がより受け入れられるよう、転用促進等を活発化させるための環境づくりや方向性について検討し、事業を円滑に運営するための事業推進委員会等を開催した。

国内外の講師を招いての引退競走馬の更なる乗馬や馬術における活用と転用促進を目的とした講習会を開催する事業であるが、「海外講師の講習会」は、新型コロナウイルス感染症のため、講師の渡航が困難なため中止とした。また、引退競走馬をより一層、乗馬や馬術で活用させるために、全国 23 大会で引退競走馬のみの競技種目に対して引退競走馬所有者奨励金を授与した。

・(国内講師) 講習会の開催

「ナチュラルホースマンシップを取り入れた持田裕之氏の引退競走馬のリトレーニング講習会」
4 会場 合計参加者数 418 名 (延べ人数)

・引退競走馬所有者奨励競技会の開催

障害馬術：15 大会 合計申込頭数 482 頭
馬場馬術：5 大会 合計申込頭数 149 頭
総合馬術：3 大会 合計申込頭数 66 頭
※23 大会 合計申込頭数 697 頭

・事業推進委員会の開催

(第 1 回：2 月 16 日、第 2 回：3 月 8 日)、第 3 回：9 月 20 日、第 4 回：12 月 27 日
第 1 回：令和 5 年 2 月 7 日

・競技実行委員会の開催

(第 1 回：3 月 1 日)

4) 多様な馬の利活用等の取組みを支援し、発展させるための事業

JRA の助成を受け、すでに実施されている馬の多様な利活用等に関する取り組みの安定的な運営・発展を支援し、又は将来的に馬関連事業の参考事例となるような取り組みや馬産業の人材養成等に資するような取り組みを支援する事業として行った。

本年度は支援対象事業検討委員会を対象となった 52 事業に対しての支援を行った。

・支援対象事業検討委員会

(第 1 回：1 月 28 日)、第 2 回：4 月 6 日、第 3 回：7 月 12 日、第 4 回：10 月 3 日、
第 5 回：10 月 20 日
第 1 回：令和 5 年 1 月 24 日、第 2 回：令和 5 年 3 月 29 日

6. 乗馬施設整備関係事業

(1) 優良乗馬施設認定事業

利用者の安全や周辺環境等に配慮した優良乗馬施設を認定するため、申請に基づき現地調査及び優良乗馬施設認定審査委員会の審査を経て乗馬施設を新規に認定すると共に、更新申請がある乗馬施設を認定するため、令和 5 年 3 月 30 日に優良乗馬施設認定審査委員会を開催した。

現在 159 乗馬施設が認定されている。

(2) 乗馬施設再貸付事業

乗馬施設等が乗馬普及に必要な動産の整備を行うにあたり、申請書に基づき審査の上、(公財) 畜産近代化リース協会から本協会がこれらを借り受け、乗馬施設等に再貸付を行った。

8 乗馬施設へ 13 件、取得価格総額 69,581,600 円の乗馬施設再貸付を実施した。 【別表 5】

【別表 5】令和 4 年度 (公財) 畜産近代化リース協会関係 事業実施状況 (新規)

乗馬クラブ名	機械施設名	数量	取得価格 (円)	契約日(上段) 貸付開始日(下段)
岡山乗馬倶楽部	簡易式厩舎	1	22,000,000	5月30日 8月1日
乗馬クラブエクセラ	障害セット	1	1,397,000	7月20日 7月1日

乗馬クラブ名	機械施設名	数量	取得価格（円）	契約日(上段) 貸付開始日(下段)
カナディアンキャンプ 乗馬クラブ	簡易式馬場柵	1	2,090,000	7月27日 8月1日
ドレッサージュ・ ステーブル・テルイ	トラクター	1	5,589,100	9月12日 11月1日
SILVANO STABLES	簡易式厩舎	1	4,686,000	10月12日 10月1日
カナディアンキャンプ 乗馬クラブ	簡易式厩舎・ 簡易式馬場柵	4	9,985,800	10月18日 令和5年1月1日
riding team Regroup	簡易式厩舎	1	14,154,800	10月26日 11月1日
カナディアンキャンプ 乗馬クラブ	ワゴン車	1	4,178,900	11月30日 12月1日
蒜山ホースパーク	厩舎用ヒーター	1	1,870,000	令和5年1月24日 令和5年2月1日
(株)日本トレッキング	治療器	1	3,630,000	令和5年2月22日 令和5年2月1日
合 計	8 施設	13 件	69,581,600	

(3) 乗馬施設費利子補給事業

乗馬施設等が借入金で新規に乗馬施設の整備を行う場合、申請書に基づき書類審査及び現地確認を行い、適正であった案件を利子補給対象としている。

なお、平成20年度から新規の応募は受け付けていない。

7. 乗用馬整備関係事業

(1) 乗用馬防疫推進事業

(公財)全国競馬・畜産振興会からの助成を受けて事業を行った。

軽種馬防疫協議会が推奨する要領により、馬インフルエンザ、日本脳炎及び破傷風の予防ワクチンを所定のプログラムに基づいて接種が確認された馬4,915頭に対し、予防接種費の補助金を交付した。

なお、登録乗用馬における馬インフルエンザ、日本脳炎および破傷風等の伝染性疾病に対する防疫体制の確立のため、8月24日に第1回、令和5年3月8日に第2回「乗用馬防疫推進委員会」を開催した。

(2) 在来馬乗用化推進事業

在来馬を乗用馬として安全に活用するため、公設動物園、在来馬保存会、在来馬飼養管理者を対象とした馴致・調教の講習会を行った。

・在来馬乗用化推進事業現地講習会

会 場：宮古馬保存会宮古馬飼養管理施設（沖縄県宮古島市長間）

荷川取牧場（沖縄県宮古島市平良下里・宮古島市下地与那覇）等

日 程：10月5日～7日

宮古馬の現地飼養管理者を対象に馴致調教方法・飼養管理方法の指導

参 加 者：8人（延べ人数21名）

・在来馬飼養管理者集合講習会

会 場：宮古馬保存会宮古馬飼養管理施設（沖縄県宮古島市長間）

荷川取牧場（沖縄県宮古島市平良下里・宮古島市下地与那覇）等

日 程：11月15日～18日

全国で在来馬を飼養管理している者ならびに現地で宮古馬を飼育管理している者を対象に初期馴致ならびに基礎調教を指導

参 加 者：5人（延べ人数19名）

(3) 馬の流通に係る若手後継者による上場馬調教事業

(公財)全国競馬・畜産振興会からの助成を受けて下記の事業を行った。

① 事業推進委員会開催事業

馬の流通に係る若手後継者による上場馬調教事業推進委員会を4月28日にオンラインにて開催し、令和3年度の現地指導報告と令和4年度の現地指導方針を確認した。

② 若手後継者による上場馬調教事業

馬産地においてこれまで講習会を受講した者の中から優れた人材を活用して、各地域の生産団体によって選抜された若馬に対し乗用馬として付加価値を向上させ市場に送り出すための馴致調教を行うことと併せて、若手後継者に対して若馬の育成調教技術の習得に取り組んだ。

また、本協会有資格指導者を講師として現地へ派遣し、馴致調教の初期段階における選抜馬の乗用馬市場までの方向性を見極めと、馴致調教に関する指導を行った。

続いて、乗用馬市場前の調教仕上げ期に必要な、馴致調教の指導のために、本協会有資格者指導者を派遣して現地指導を行った。

現地確認事業

遠野地域：5月12日～14日	参加者：3名
十勝地域：6月15日～17日	参加者：2名
根釧地域：7月27日～31日	参加者：7名

現地指導事業

遠野地域：10月15日～27日※うち7日間実施	参加者：5名
十勝地域：8月27日～29日	参加者：4名
根釧地域：9月23日～27日	参加者：7名

8. 乗馬指導者養成関係事業

一般市民を安全に乗馬指導できる乗馬関係者を養成するため、下記の事業を行った。

(1) 乗馬指導者養成講習会

① 初級

初級乗馬指導者資格認定試験を受験する者を対象に、乗馬に関する知識及び技術向上を目的として、ブリティッシュ部門7会場、ウエスタン部門2会場で実技講習会を開催した。なお、新型コロナウイルス感染症のため座学講習はオンラインにてブリティッシュ部門を3回、ウエスタン部門を1回実施した。【別表6】

② 中級・上級

中級・上級乗馬指導者資格認定試験を受験する者を対象に、より高度な知識及び技術の向上を目的として、ブリティッシュ部門中級・上級、ウエスタン部門上級の講習を実施し、ウエスタン部門中級は初級と合同で西日本会場(東日本申込なし)にて実施した。【別表6】

(2) 乗馬指導者資格認定

① 乗馬指導者資格認定試験

ブリティッシュ部門の初級認定試験及び中級・上級の学科試験を10月18日に全国7ヵ所において一斉に実施し、中級・上級の実技・面接試験は東西2ヵ所に分け、東日本地域は11月15日山梨県馬術競技場において、西日本地域は11月8日三木ホースランドパークにおいて開催した。

ウエスタン部門の初級・中級においても東西2ヵ所(中級は西のみ)に分け10月20日東日本地域は前森高原フロンティアファームにおいて、西日本地域はかなぎウエスタンライディングパークにおいて開催した。

また、ウエスタン部門の上級は山梨県馬術競技場(西日本申込なし)で実施した。【別表6】

【別表6】 令和4年度乗馬指導者養成講習会、資格認定試験

受講者数・・・ 248名

受験者数・・・ 220名

合格者数・・・ 124名

(単位：名)

区分	地域	会場	養成講習会			資格認定試験					
			期間	申請者	受講者	申請者	受験者	合格者	不合格者	合格率	
初級	ブリティッシュ	北海道	ノーザンホースパーク	7/26～7/27	10	10	7	7	5	2	71.4%
		東北	馬っこパーク・いわて	6/28～6/29	12	12	9	9	6	3	66.7%
		関東	中島トニアシュタール	9/5～9/6	80	78	72	69	41	28	59.4%
		北陸・中部	御殿場市馬術・スポーツセンター	7/5～7/6	27	24	30	30	13	17	43.3%
		関西	鶴見緑地乗馬苑	7/4～7/5	39	37	33	33	20	13	60.6%
		中国・四国	岡山乗馬倶楽部	6/27～6/28	16	16	17	17	9	8	52.9%
		九州	福岡県馬術競技場	6/28～6/29	20	17	14	13	10	3	76.9%
	小計				204	194	182	178	104	74	58.4%
	ウエスタン	東日本	前森高原フロンティアファーム	7/5～7/6	14	14	12	12	2	10	16.7%
		西日本	かなぎウエスタンライディングパーク	7/11～7/12	10	10	9	9	6	3	66.7%
	小計				24	24	21	21	8	13	38.1%
	初級合計				228	218	203	199	112	87	56.3%
	中級	ブリティッシュ	東日本	山梨県馬術競技場	9/6～9/7	10	10	7	7	3	4
西日本			三木ホースランドパーク	8/30～8/31	6	6	6	5	1	4	20.0%
小計				16	16	13	12	4	8	33.3%	
ウエスタン		東日本	前森高原フロンティアファーム	7/5～7/6	0	0	—	—	—	—	—
		西日本	かなぎウエスタンライディングパーク	7/11～7/12	4	4	4	3	2	1	66.7%
小計				4	4	4	3	2	1	66.7%	
中級合計				20	20	17	15	6	9	40.0%	
上級	ブリティッシュ	東日本	山梨県馬術競技場	9/6～9/7	2	2	1	0	—	—	—
		西日本	三木ホースランドパーク	8/30～8/31	5	4	4	3	3	0	100.0%
	小計				7	6	5	3	3	0	100.0%
	ウエスタン	東日本	山梨県馬術競技場	9/6～9/7	3	3	3	3	3	0	100.0%
		西日本	三木ホースランドパーク	8/30～8/31	1	1	0	0	—	—	—
	小計				4	4	3	3	3	0	100.0%
上級合計				11	10	8	6	6	0	100.0%	
合計				259	248	228	220	124	96	56.4%	

注)

- ウエスタン中級の東日本は申込者がいないため、開催せず。
- 初級乗馬指導者資格認定試験は、ブリティッシュ10月18日、ウエスタン（中級含む）10月20日に実施。
- ブリティッシュ中・上級・ウエスタン上級（東日本のみ）乗馬指導者資格認定試験は、学科10月18日、実技・面接については東日本が11月15日、西日本は11月8日に実施。

② 乗馬指導者資格認定試験問題作成委員会
乗馬指導者の資格認定における試験問題の作成について、新型コロナウイルス感染症のためリモートを用いて開催した。

③ 資格審査員研修会
乗馬指導者資格審査委員に対し、実技試験の審査眼の統一を図り、試験内容の検討のため、6月7日にJRA新橋分館において実務研修を開催した。

④ 合否判定会議
12月6日に乗馬指導者資格認定試験の合否判定会議を行い、審議終了後それぞれの資格認定試験改善のため検討会を開催した。

<ブリティッシュ> 111名合格（初級104名、中級4名、上級3名）
<ウエスタン> 13名合格（初級8名、中級2名、上級3名）

(3) 乗馬指導者巡回指導
新型コロナウイルス感染症のため中止。

(4) 乗馬指導者競技会
① 全国乗馬指導者競技会
乗馬指導者の技術向上を図るため5月19日～22日の4日間、御殿場市馬術・スポーツセンター（静岡県御殿場市）で、ブリティッシュ部門のみ開催した。

② 各地域の乗馬指導者競技会
ブリティッシュ部門を6地域において一般の競技会と併せて実施し、九州地域は申し込みがなく中止とした。ウエスタン部門は山梨県馬術競技場と福岡県馬術競技場の2ヶ所で開催した。

【別表7】

【別表7】 令和4年度 各地域の乗馬指導者競技会

開催地域	開催月日	会場
北海道	10月1日～2日	ノーザンホースパーク
東北	9月24日	仙北市馬術競技場
関東	8月12日	山梨県馬術競技場
北陸中部	11月26日	御殿場市馬術・スポーツセンター
関西	11月22日、27日	水口乗馬クラブ
中国四国	8月26日～27日	蒜山ホースパーク
九州	11月12日 ※中止	三重町馬術競技場
ウエスタン東	9月10日	山梨県馬術競技場
ウエスタン西	12月17日	福岡県馬術競技場

(5) 乗馬指導者資格更新講習会
既に乗馬指導者資格を取得している者を対象に乗馬指導の知識のレベルアップを図るために、2地域において馬の運動心理学・乗馬界の現状（安全対策）・スポーツインテグリティ等について講習会を開催した。

- ・北海道地域（北海道札幌市／北海道立総合体育センター）
実施日：令和5年1月31日
- ・関西地域（大阪府大阪市／新大阪丸ビル）
実施日：令和5年2月14日

〔特記事項〕

令和2年初頭からの新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、令和4年度も政府より発令された感染症対策の基本方針等を踏まえた上で、事業の一部を中止した。

令和4年度

会計決算報告書

公益社団法人全国乗馬倶楽部振興協会

貸借対照表

令和5年3月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減	備考
I 資産の部				
1. 流動資産				
現金預金	233,323,355	354,365,553	△ 121,042,198	
現金	117,133	108,829	8,304	
普通預金	173,206,222	294,256,724	△ 121,050,502	
定期預金	60,000,000	60,000,000	0	
未収金	4,568,135	3,137,796	1,430,339	
仮払金	382,137,640	239,294,610	142,843,030	
貯蔵品	6,416,559	7,273,632	△ 857,073	
流動資産合計	626,445,689	604,071,591	22,374,098	
2. 固定資産				
(1)特定資産				
退職給付引当資産	25,906,962	37,023,317	△ 11,116,355	
乗馬振興事業特別積立資産	16,000,000	16,000,000	0	
再貸付事業積立資産	43,485,439	42,720,042	765,397	
ソフトウェア	3,373,334	5,133,334	△ 1,760,000	
特定資産合計	88,765,735	100,876,693	△ 12,110,958	
(2)その他固定資産				
備品	2,087,392	2,669,233	△ 581,841	
ソフトウェア	2,518,887	54,183	2,464,704	
電話加入権	372,008	372,008	0	
車両運搬具	1,249,750	0	1,249,750	
その他固定資産合計	6,228,037	3,095,424	3,132,613	
固定資産合計	94,993,772	103,972,117	△ 8,978,345	
資産合計	721,439,461	708,043,708	13,395,753	
II 負債の部				
1. 流動負債				
未払金	6,974,368	9,474,644	△ 2,500,276	
仮受金	414,506,720	395,865,412	18,641,308	
預り金	1,183,917	555,297	628,620	
賞与引当金	4,807,742	4,743,223	64,519	
流動負債合計	427,472,747	410,638,576	16,834,171	
2. 固定負債				
退職給付引当金	25,906,962	37,023,317	△ 11,116,355	
固定負債合計	25,906,962	37,023,317	△ 11,116,355	
負債合計	453,379,709	447,661,893	5,717,816	
III 正味財産の部				
1. 指定正味財産	3,373,334	5,133,334	△ 1,760,000	
(うち基本資産への充当額)	(0)	(0)	(0)	
(うち特定資産への充当額)	(3,373,334)	(5,133,334)	(△ 1,760,000)	
2. 一般正味財産	264,686,418	255,248,481	9,437,937	
(うち基本資産への充当額)	(0)	(0)	(0)	
(うち特定資産への充当額)	(59,485,439)	(58,720,042)	(765,397)	
正味財産合計	268,059,752	260,381,815	7,677,937	
負債及び正味財産合計	721,439,461	708,043,708	13,395,753	

貸借対照表内訳表

令和5年3月31日現在

(単位：円)

科目	公益目的事業 会計	収益事業等 会計	法人会計	内部取引 消去	合計	備考
I 資産の部						
1. 流動資産						
現金預金	15,848,995	189,448,415	28,025,945		233,323,355	
現金	0	0	117,133		117,133	
普通預金	15,848,995	129,448,415	27,908,812		173,206,222	
定期預金	0	60,000,000	0		60,000,000	
未収金	4,496,464	0	71,671		4,568,135	
仮払金	381,000,000	0	1,137,640		382,137,640	
貯蔵品	6,416,559	0	0		6,416,559	
流動資産合計	407,762,018	189,448,415	29,235,256	0	626,445,689	
2. 固定資産						
(1)特定資産						
退職給付引当資産	21,243,709	2,072,557	2,590,696		25,906,962	
乗馬振興事業特別積立資産	0	0	16,000,000		16,000,000	
再貸付事業積立資産	0	43,485,439	0		43,485,439	
ソフトウェア	3,373,334	0	0		3,373,334	
特定資産合計	24,617,043	45,557,996	18,590,696	0	88,765,735	
(2)その他固定資産						
備品	1,825,973	116,186	145,233		2,087,392	
ソフトウェア	2,518,887	0	0		2,518,887	
電話加入権	271,566	40,921	59,521		372,008	
車両運搬具	1,249,750	0	0		1,249,750	
その他固定資産合計	5,866,176	157,107	204,754	0	6,228,037	
固定資産合計	30,483,219	45,715,103	18,795,450	0	94,993,772	
資産合計	438,245,237	235,163,518	48,030,706	0	721,439,461	
II 負債の部						
1. 流動負債						
未払金	2,300,246	3,300	4,670,822		6,974,368	
仮受金	404,698,028	8,673,029	1,135,663		414,506,720	
預り金	0	152,633	1,031,284		1,183,917	
賞与引当金	3,942,348	384,619	480,775		4,807,742	
流動負債合計	410,940,622	9,213,581	7,318,544	0	427,472,747	
2. 固定負債						
退職給付引当金	21,243,709	2,072,557	2,590,696		25,906,962	
固定負債合計	21,243,709	2,072,557	2,590,696	0	25,906,962	
負債合計	432,184,331	11,286,138	9,909,240	0	453,379,709	
III 正味財産の部						
1. 指定正味財産						
指定正味財産合計	3,373,334	0	0	0	3,373,334	
(うち基本資産への充当額)	(0)	(0)	(0)		(0)	
(うち特定資産への充当額)	(3,373,334)	(0)	(0)		(3,373,334)	
2. 一般正味財産						
一般正味財産合計	2,687,572	223,877,380	38,121,466	0	264,686,418	
(うち基本資産への充当額)	(0)	(0)	(0)		(0)	
(うち特定資産への充当額)	(0)	(43,485,439)	(16,000,000)		(59,485,439)	
正味財産合計	6,060,906	223,877,380	38,121,466	0	268,059,752	
負債及び正味財産合計	438,245,237	235,163,518	48,030,706	0	721,439,461	

注) 乗馬施設活性化支援事業において(公財)畜産近代化リース協会より借受け、登録乗馬施設に貸付けを行っている再貸付物件が221,685,691円ある。

正味財産増減計算書

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減	備考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
特定資産運用益	1,643	1,600	43	
特定預金受取利息収益	1,643	1,600	43	
受取入会金及び会費	3,250,000	3,220,000	30,000	
受取入会金及び会費	3,250,000	3,220,000	30,000	
事業収益	109,450,523	110,850,719	△ 1,400,196	
登録料収益	45,540,200	44,665,400	874,800	
指導者資格認定試験料収益	3,689,000	3,577,500	111,500	
乗馬技能認定料収益	42,898,900	46,911,700	△ 4,012,800	
参加料収益	9,199,000	6,987,000	2,212,000	
再貸付事務手数料収益	1,530,793	1,358,369	172,424	
資格認定テキスト収益	6,592,630	7,350,750	△ 758,120	
受取補助金等	853,238,739	689,089,792	164,148,947	
乗馬普及事業助成金	843,958,839	679,209,892	164,748,947	
乗馬普及事業助成金減価償却費振替額	1,760,000	1,760,000	0	
内国産馬生産奨励事業助成金	3,447,900	3,447,900	0	
スポーツ振興くじ助成金	4,072,000	4,672,000	△ 600,000	
雑収益	1,547,946	2,791,597	△ 1,243,651	
受取利息収益	3,175	2,967	208	
雑収益	1,544,771	2,788,630	△ 1,243,859	
経常収益計	967,488,851	805,953,708	161,535,143	
(2) 経常費用				
事業費	948,352,859	770,310,931	178,041,928	
役員報酬	6,446,808	6,446,808	0	
給与手当	56,050,907	50,049,585	6,001,322	
社会保険料	10,819,209	9,765,943	1,053,266	
福利厚生費	991,536	713,116	278,420	
馬とのふれあい補助費	50,228,385	43,230,600	6,997,785	
乗用馬保健衛生補助費	34,099,813	30,526,753	3,573,060	
乗馬施設整備補助費	611,501,869	480,056,537	131,445,332	
競技会奨励費及び賞品費	34,635,000	31,544,794	3,090,206	
会議及び講習会費	28,763,834	22,960,564	5,803,270	
旅費交通費	47,810,037	35,864,942	11,945,095	
従事員賃金	8,149,193	9,143,923	△ 994,730	
広報費	14,321,793	8,405,555	5,916,238	
備品及び借料費	8,323,459	10,773,485	△ 2,450,026	
減価償却費	3,641,759	2,401,816	1,239,943	
消耗品費	1,794,370	1,070,661	723,709	
図書印刷製本費	10,277,217	8,685,544	1,591,673	
通信費	2,736,174	2,496,759	239,415	
光熱及び水料	588,173	401,317	186,856	
役務費	5,152,234	5,211,548	△ 59,314	
租税公課	2,976,711	3,680,891	△ 704,180	
雑費	4,800,512	2,873,971	1,926,541	
退職給付費用	4,185,800	3,811,485	374,315	
賞与引当金繰入	58,066	194,334	△ 136,268	
管理費	11,698,055	10,325,915	1,372,140	
役員報酬	716,312	716,312	0	
給与手当	6,227,879	5,561,287	666,592	
社会保険料	1,202,135	1,085,105	117,030	

科 目	当年度	前年度	増 減	備考
福利厚生費	110,171	79,235	30,936	
会議及び講習会費	271,036	114,385	156,651	
旅費交通費	339,187	237,663	101,524	
従事員賃金	272,410	283,285	△ 10,875	
備品及び借料費	860,604	719,646	140,958	
減価償却費	45,002	50,464	△ 5,462	
消耗品費	44,916	46,672	△ 1,756	
図書印刷製本費	54,211	100,605	△ 46,394	
通信費	240,967	238,048	2,919	
光熱及び水料	60,979	40,222	20,757	
役務費	400,388	380,387	20,001	
租税公課	3,879	3,555	324	
雑費	376,437	223,954	152,483	
退職給付費用	465,089	423,498	41,591	
賞与引当金繰入	6,453	21,592	△ 15,139	
経常費用計	960,050,914	780,636,846	179,414,068	
評価損益等調整前当期経常増減額	7,437,937	25,316,862	△ 17,878,925	
基本財産評価損益	0	0	0	
特定資産評価損益	0	0	0	
投資有価証券評価損益等	0	0	0	
評価損益等計	0	0	0	
当期経常増減額	7,437,937	25,316,862	△ 17,878,925	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
固定資産受増益	2,000,000	0	2,000,000	
経常外収益計	2,000,000	0	2,000,000	
(2) 経常外費用				
固定資産除却損	0	282,629	△ 282,629	
経常外費用計	0	282,629	△ 282,629	
当期経常外増減額	2,000,000	△ 282,629	2,282,629	
当期一般正味財産増減額	9,437,937	25,034,233	△ 15,596,296	
一般正味財産期首残高	255,248,481	230,214,248	25,034,233	
一般正味財産期末残高	264,686,418	255,248,481	9,437,937	
Ⅱ 指定正味財産増減の部				
一般正味財産への振替額	△ 1,760,000	△ 1,760,000	0	
当期指定正味財産増減額	△ 1,760,000	△ 1,760,000	0	
指定正味財産期首残高	5,133,334	6,893,334	△ 1,760,000	
指定正味財産期末残高	3,373,334	5,133,334	△ 1,760,000	
Ⅲ 正味財産期末残高	268,059,752	260,381,815	7,677,937	

正味財産増減計算書内訳表
令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

(単位：円)

科目	公益目的事業会計		収益事業等会計				法人会計	合計	備考
	乗馬普及事業	小計	乗馬施設等 登録事業	乗馬施設活性 化支援事業	共通	小計			
I 一般正味財産増減の部									
1. 経常増減の部									
(1) 経常収益									
特定資産運用益	505	505	31	725	0	756	382	1,643	
特定預金受取利息収益	505	505	31	725	0	756	382	1,643	
受取入会金及び会費	1,625,000	1,625,000	0	0	0	0	1,625,000	3,250,000	
受取入会金及び会費	1,625,000	1,625,000	0	0	0	0	1,625,000	3,250,000	
事業収益	62,379,530	62,379,530	45,540,200	1,530,793	0	47,070,993	0	109,450,523	
登録料収益	0	0	45,540,200	0	0	45,540,200	0	45,540,200	
指導者資格認定試験料収益	3,689,000	3,689,000	0	0	0	0	0	3,689,000	
乗馬技能認定料収益	42,898,900	42,898,900	0	0	0	0	0	42,898,900	
参加料収益	9,199,000	9,199,000	0	0	0	0	0	9,199,000	
再貸付事務手数料収益	0	0	0	1,530,793	0	1,530,793	0	1,530,793	
資格認定テキスト収益	6,592,630	6,592,630	0	0	0	0	0	6,592,630	
受取補助金等	840,972,708	840,972,708	3,407,444	2,044,467	0	5,451,911	6,814,120	853,238,739	
乗馬普及事業助成金	831,692,808	831,692,808	3,407,444	2,044,467	0	5,451,911	6,814,120	843,958,839	
乗馬普及事業助成金減価償却費振替額	1,760,000	1,760,000	0	0	0	0	0	1,760,000	
内国産馬生産奨励事業助成金	3,447,900	3,447,900	0	0	0	0	0	3,447,900	
スポーツ振興くじ助成金	4,072,000	4,072,000	0	0	0	0	0	4,072,000	
雑収益	2,471	2,471	151	252	0	403	1,545,072	1,547,946	
受取利息収益	2,471	2,471	151	252	0	403	301	3,175	
雑収益	0	0	0	0	0	0	1,544,771	1,544,771	
経常収益計	904,980,214	904,980,214	48,947,826	3,576,237	0	52,524,063	9,984,574	967,488,851	
(2) 経常費用									
事業費	937,090,288	937,090,288	7,800,367	3,462,204	0	11,262,571	—	948,352,859	
役員報酬	5,873,758	5,873,758	358,156	214,894	0	573,050	—	6,446,808	
給与手当	51,068,604	51,068,604	3,113,939	1,868,364	0	4,982,303	—	56,050,907	
社会保険料	9,857,502	9,857,502	601,067	360,640	0	961,707	—	10,819,209	
福利厚生費	903,400	903,400	55,085	33,051	0	88,136	—	991,536	
馬とのふれあい補助費	50,228,385	50,228,385	0	0	0	0	—	50,228,385	
乗用馬保健衛生補助費	34,099,813	34,099,813	0	0	0	0	—	34,099,813	
乗馬施設整備補助費	611,501,869	611,501,869	0	0	0	0	—	611,501,869	
競技会奨励費及び賞品費	34,635,000	34,635,000	0	0	0	0	—	34,635,000	
会議及び講習会費	28,763,834	28,763,834	0	0	0	0	—	28,763,834	
旅費交通費	47,381,268	47,381,268	327,013	101,756	0	428,769	—	47,810,037	
従事員賃金	7,527,775	7,527,775	539,695	81,723	0	621,418	—	8,149,193	
広報費	14,321,793	14,321,793	0	0	0	0	—	14,321,793	
備品及び借料費	7,634,976	7,634,976	430,302	258,181	0	688,483	—	8,323,459	
減価償却費	3,605,757	3,605,757	22,502	13,500	0	36,002	—	3,641,759	
消耗品費	1,740,353	1,740,353	40,542	13,475	0	54,017	—	1,794,370	
図書印刷製本費	8,809,348	8,809,348	1,451,606	16,263	0	1,467,869	—	10,277,217	
通信費	2,460,036	2,460,036	203,848	72,290	0	276,138	—	2,736,174	
光熱及び水料	539,391	539,391	30,489	18,293	0	48,782	—	588,173	
役務費	4,831,923	4,831,923	200,194	120,117	0	320,311	—	5,152,234	

科目	公益目的事業会計		収益事業等会計				法人会計	合計	備考
	乗馬普及事業	小計	乗馬施設等 登録事業	乗馬施設活性 化支援事業	共通	小計			
租税公課	2,973,607	2,973,607	1,940	1,164	0	3,104	—	2,976,711	
雑費	4,465,262	4,465,262	188,219	147,031	0	335,250	—	4,800,512	
退職給付費用	3,813,729	3,813,729	232,544	139,527	0	372,071	—	4,185,800	
賞与引当金繰入	52,905	52,905	3,226	1,935	0	5,161	—	58,066	
管理費	—	—	—	—	—	—	11,698,055	11,698,055	
役員報酬	—	—	—	—	—	—	716,312	716,312	
給与手当	—	—	—	—	—	—	6,227,879	6,227,879	
社会保険料	—	—	—	—	—	—	1,202,135	1,202,135	
福利厚生費	—	—	—	—	—	—	110,171	110,171	
会議及び講習会費	—	—	—	—	—	—	271,036	271,036	
旅費交通費	—	—	—	—	—	—	339,187	339,187	
従事員賃金	—	—	—	—	—	—	272,410	272,410	
備品及び借料費	—	—	—	—	—	—	860,604	860,604	
減価償却費	—	—	—	—	—	—	45,002	45,002	
消耗品費	—	—	—	—	—	—	44,916	44,916	
図書印刷製本費	—	—	—	—	—	—	54,211	54,211	
通信費	—	—	—	—	—	—	240,967	240,967	
光熱及び水料	—	—	—	—	—	—	60,979	60,979	
役務費	—	—	—	—	—	—	400,388	400,388	
租税公課	—	—	—	—	—	—	3,879	3,879	
雑費	—	—	—	—	—	—	376,437	376,437	
退職給付費用	—	—	—	—	—	—	465,089	465,089	
賞与引当金繰入	—	—	—	—	—	—	6,453	6,453	
経常費用計	937,090,288	937,090,288	7,800,367	3,462,204	0	11,262,571	11,698,055	960,050,914	
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 32,110,074	△ 32,110,074	41,147,459	114,033	0	41,261,492	△ 1,713,481	7,437,937	
基本財産評価損益	0	0	0	0	0	0	0	0	
特定資産評価損益	0	0	0	0	0	0	0	0	
投資有価証券評価損益等	0	0	0	0	0	0	0	0	
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0	0	
当期経常増減額	△ 32,110,074	△ 32,110,074	41,147,459	114,033	0	41,261,492	△ 1,713,481	7,437,937	
2. 経常外増減の部									
(1)経常外収益									
固定資産受増益	2,000,000	2,000,000	0	0	0	0	0	2,000,000	
経常外収益計	2,000,000	2,000,000	0	0	0	0	0	2,000,000	
(2)経常外費用									
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0	
当期経常外増減額	2,000,000	2,000,000	0	0	0	0	0	2,000,000	
他会計振替前当期一般正味財産増減額	△ 30,110,074	△ 30,110,074	41,147,459	114,033	0	41,261,492	△ 1,713,481	9,437,937	
他会計振替額	20,561,283	20,561,283	△ 22,561,283	1,234,604	0	△ 21,326,679	765,396	0	
当期一般正味財産増減額	△ 9,548,791	△ 9,548,791	18,586,176	1,348,637	0	19,934,813	△ 948,085	9,437,937	
一般正味財産期首残高	12,236,363	12,236,363	159,221,373	44,721,194	0	203,942,567	39,069,551	255,248,481	
一般正味財産期末残高	2,687,572	2,687,572	177,807,549	46,069,831	0	223,877,380	38,121,466	264,686,418	
Ⅱ 指定正味財産増減の部									
一般正味財産への振替額	△ 1,760,000	△ 1,760,000	0	0	0	0	0	△ 1,760,000	
当期指定正味財産増減額	△ 1,760,000	△ 1,760,000	0	0	0	0	0	△ 1,760,000	
指定正味財産期首残高	5,133,334	5,133,334	0	0	0	0	0	5,133,334	
指定正味財産期末残高	3,373,334	3,373,334	0	0	0	0	0	3,373,334	
Ⅲ 正味財産期末残高	6,060,906	6,060,906	177,807,549	46,069,831	0	223,877,380	38,121,466	268,059,752	

財務諸表に対する注記

1. 継続組織の前提に関する注記

該当なし。

2. 重要な会計方針

(1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

最終仕入原価法による原価法を採用している。

(2) 固定資産の減価償却の方法

定額法を採用し、直接法により表示している。

(3) 引当金の計上基準

退職給付引当金は役職員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務に基づき、当期末において発生していると認められる額を計上している。なお退職給付債務は期末要支給額に基づいて計算している。

賞与引当金は職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当期に帰属する額を計上している。

(4) リース取引の処理方法

ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

(5) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税込方式によっている。

3. 会計方針の変更

なし。

4. 特定資産の増減額及びその残額

特定資産の増減額及びその残額は、次のとおりである。

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
退職給付引当資産	37,023,317	4,650,889	15,767,244	25,906,962
乗馬振興事業特別積立資産	16,000,000	0	0	16,000,000
再貸付事業積立資産	42,720,042	765,397	0	43,485,439
ソフトウェア	5,133,334	0	1,760,000	3,373,334
合 計	100,876,693	5,416,286	17,527,244	88,765,735

5. 特定資産の財源等の内訳

特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
退職給付引当預金	25,906,962	0	0	25,906,962
乗馬振興事業特別積立預金	16,000,000	0	16,000,000	0
再貸付事業積立預金	43,485,439	0	43,485,439	0
ソフトウェア	3,373,334	3,373,334	0	0
合 計	88,765,735	3,373,334	59,485,439	25,906,962

6. 固定資産の取得価格、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価格、減価償却累計額及び当期末残高は次のとおりである。

科 目	取得価格	減価償却累計額	当期末残高
備 品	5,422,266	3,334,874	2,087,392
ソフトウェア（その他固定資産）	4,421,524	1,902,637	2,518,887
ソフトウェア（特定資産）	8,800,000	5,426,666	3,373,334
電話加入権	372,008	0	372,008
車両運搬具	2,000,000	750,250	1,249,750
合 計	21,015,798	11,414,427	9,601,371

7. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減及び残高は、次のとおりである。

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
日本中央競馬会 助成金	日本 中央 競馬会	0	110,280,337	110,280,337	0	
競馬振興特別助成金 【3項④】 被災地支援等のための 馬とのふれあい活動事 業	日本 中央 競馬会	0	39,982,222	39,982,222	0	
競馬振興特別助成金 【3項⑤】 多様な馬の利活用等の 取組みを支援し、発展 させるための事業	日本 中央 競馬会	376,038,667	604,821,862	582,842,815	398,017,714	流動負債
競馬振興特別助成金 【3項⑤】 多様な馬の利活用等の 取組みを支援し、発展 させるための事業	日本 中央 競馬会	5,133,334	0	1,760,000	3,373,334	指定正味財産
競馬振興特別助成金 【3項①】 馬の多様な利活用を推 進する講習会開催等事 業	日本 中央 競馬会	0	19,489,920	19,489,920	0	
競馬振興特別助成金 【3項②】 障がい者乗馬・ホース セラピー活動等を支援 するための事業	日本 中央 競馬会	0	1,803,340	1,803,340	0	
競馬振興特別助成金 【3項③】 民間における引退競走 馬の利活用促進等に関 する事業	日本 中央 競馬会	0	55,460,392	55,460,392	0	

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
畜産振興事業助成金【4項】 乗用馬防疫推進事業	全国競馬・畜産振興会	0	34,099,813	34,099,813	0	
畜産振興事業助成金【4項】 馬の流通に係る調教技術向上推進事業	全国競馬・畜産振興会	0	3,447,900	3,447,900	0	
スポーツ振興くじ助成金	日本スポーツ振興センター	0	4,072,000	4,072,000	0	

8. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

内 容	金額
経常収益への振替額 減価償却費計上による振替額	1,760,000
合 計	1,760,000

○ 退職給付関係

(1) 採用している退職給付制度の概要

確定給付型の制度として退職一時金制度を設けている。

(2) 退職給付債務及びその内訳

① 退職給付債務	25,906,962
② 会計基準変更時差異の未処理額	0
③ 退職給付引当金 (①+②)	25,906,962

(3) 退職給付費用に関する事項

① 勤務費用	4,650,889
② 会計基準変更時差異の費用処理額	0
③ 退職給付費用 (①+②)	4,650,889

(4) 退職給付債務等の計算の基礎に関する事項

退職給付債務の計算に当たっては、退職一時金制度に基づく期末要支給額を基礎として計算している。

付 属 明 細 書

1. 特定資産の明細

特定資産については、財務諸表の注記に記載している。

2. 引当金の明細

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
賞与引当金	4,743,223	4,807,742	4,743,223	0	4,807,742
退職給付引当金	37,023,317	4,650,889	15,767,244	0	25,906,962

(注) 計上の理由及び算定方法については、財務諸表に対する注記に記載している。

財産目録
令和5年3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額		
(流動資産)						
(流動資産)	現金	手元保管	運転資金として	117, 133		
		預金	普通預金	173, 206, 222		
		三菱UFJ銀行 本店 (4口座)	運転資金として	117, 227, 327		
		三井住友銀行 経堂支店 (5口座)	"	53, 895, 709		
		三菱UFJ銀行 自由が丘駅前支店 (2口座)	"	2, 083, 186		
		定期預金		60, 000, 000		
		三井住友銀行 経堂支店	運転資金として	60, 000, 000		
	未収金	日本中央競馬会からの助成金	乗馬普及事業の補助金の未収分	4, 568, 135		
		健康保険・厚生年金保険料の自己負担分	法人会計管理費の未収分	4, 496, 464		
				71, 671		
仮払金	次年度執行分の補助金 32団体	乗馬普及事業の事業費	382, 137, 640			
	次年度事業にかかる傷害保険料等	法人会計管理費	381, 000, 000			
			1, 137, 640			
貯蔵品	「レッツエンジョイライディング」等のテキスト類 9, 721冊	乗馬普及事業のテキストの在庫	6, 416, 559			
	ポニーライダー認定の認定バッジ 1, 170個	乗馬普及事業の認定バッジの在庫	5, 090, 949			
			1, 325, 610			
流動資産合計				626, 445, 689		
(固定資産)						
(固定資産)	特定資産	退職給付引当資産	普通預金 三井住友銀行 経堂支店	役員員に対する退職金の支払に備えた預金	25, 906, 962	
			定期預金 三菱UFJ銀行 自由が丘駅前支店	"	906, 962	
		乗馬振興事業特別積立資産	定期預金 三菱UFJ銀行 自由が丘駅前支店	乗馬普及及び振興の事業のために使用する預金	25, 000, 000	
			普通預金 三菱UFJ銀行 自由が丘駅前支店	乗馬施設活性化事業の借入れ物件に対する保障の積立預金	16, 000, 000	
		再貸付事業積立資産	定期預金 三菱UFJ銀行 自由が丘駅前支店	"	16, 000, 000	
			乗馬普及事業の総合業務システム	公益目的保有財産として3, 373, 334円のソフトウェアを使用している。	43, 485, 439	
		ソフトウェア	普通預金 三菱UFJ銀行 自由が丘駅前支店	乗馬施設活性化事業の借入れ物件に対する保障の積立預金	15, 258, 188	
			定期預金 三菱UFJ銀行 自由が丘駅前支店	"	28, 227, 251	
	その他	固定資産	備品	事務所パソコン及び什器類 12件	公益目的保有財産の備品は1, 825, 973円であり、乗馬普及事業に使用している。その他、収益業等会計として116, 186円、法人会計として145, 233円の備品を使用している。	3, 373, 334
			ソフトウェア	乗馬指導者管理システム及び会計ソフト等 5件	公益目的保有財産として2, 518, 887円のソフトウェアを使用している。	2, 087, 392
	電話加入権		5回線分	公益目的保有財産の電話加入権は271, 566円であり、乗馬普及事業に使用している。その他、収益事業等会計として40, 921円、法人会計として59, 521円の電話加入権を使用している。	2, 518, 887	
	車両運搬具		馬運車(牽引車) 4台	公益目的保有財産の車両は1, 249, 750円であり、乗馬普及事業に使用している。	372, 008	
					1, 249, 750	
固定資産合計				94, 993, 772		
資産合計				721, 439, 461		
(流動負債)						
(流動負債)	未払金	通信費、保管料、旅費、地区への共催金等 10件	乗馬普及事業の事業経費	6, 974, 368		
		委員への謝金、臨時従事員への3月分給与等	"	541, 370		
		仮受金	消費税	消費税込納税分	642, 276	
	証明書発行手数料		乗馬施設活性化事業の事業経費	1, 116, 600		
		預り金	賃料、通信費、消耗品費等の事務管理費 21件	法人会計管理費等の3月の経費支払分	3, 300	
	社会保険料		役員員等に対する3月の社会保険料	3, 055, 807		
		賞与引当金	給与手当等	職員・臨時従事員に対する3月分給与等	1, 316, 924	
	乗馬指導者競技会等の次年度参加料等		乗馬普及事業の次年度収益分	298, 091		
		預り金	次年度の施設及び指導者登録料	乗馬施設等登録事業の次年度登録料	414, 506, 720	
	指導者登録料 712人		"	486, 744		
	預り金	再貸付事業の貸付料、事務手数料等	乗馬施設等登録事業の次年度登録料	35, 000		
日本中央競馬会からの助成金		"	8, 544, 000			
	預り金	公益財団法人全国競馬・畜産振興会からの助成金	助成金未使用分の返還分	94, 029		
所得稅		役員員及び委員等に対する3月分所得稅	1, 135, 663			
	賞与引当金	住民稅	乗馬普及事業の次年度分	398, 017, 714		
乗馬施設再貸付事業に伴う手数料及び貸付金		乗馬施設活性化事業の事業経費及び手形差額分の現金預かり分	6, 193, 570			
	賞与引当金	職員に対する12~3月分の賞与分	職員に対する12~3月分の賞与分	1, 183, 917		
			469, 184			
流動負債合計				427, 472, 747		
(固定負債)						
(固定負債)	退職給付引当金	役員員に対するもの	役員員に対する退職金の支払に備えたもの	25, 906, 962		
				25, 906, 962		
固定負債合計				25, 906, 962		
負債合計				453, 379, 709		
正味財産				268, 059, 752		

監 査 報 告

令和5年5月15日

公益社団法人全国乗馬倶楽部振興協会

会 長 武 宮 忠 彦 殿

公益社団法人全国乗馬倶楽部振興協会

監 事 神 谷 孝 之

監 事 野 中 亮 一

私たち監事は、定款第23条の規定に基づき、令和4年度（令和4年4月1日から令和5年3月31日まで）の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその付属明細書並びに財産目録について検討いたしました。

2 監査意見

(1) 事業報告等の監査結果

- 一 事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類及びその付属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその付属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。